

新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくりにおける公共空間等の有効活用について

[R6.12.27 時点] ※今後変更となる場合があります。

1. 駅周辺まちづくりにおける公共空間等の有効活用の背景

【まちを取り巻く環境の変化】

■ まちの高密度化

土地区画整理事業の完成から約40年が経過し、まちには商業・業務・公益・住宅施設が高密度に配置。

■ 駅勢圏人口の増加

新百合ヶ丘の周辺地域（区内や稲城市等）でも宅地開発等が進展。

■ 駅利用者の増加

3号線延伸により将来的には駅利用者増加の見込み。

駅周辺で計画的に配置された公園広場等をまちの余白として最大限活用することに期待

【最近のトレンド】

■ ウォーカブル

官民のパブリック空間（道路等）を人中心の空間へ転換し、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を形成。

■ パークマネジメント

公園等の「柔軟かつ多様な利活用」、「持続可能な管理運営の仕組み」、「新たな価値創出、魅力向上」。

■ ウィズコロナ・ポストコロナ

屋外オープンスペースの活用に対する需要の高まり。

公共空間の活用による更なるまちの活性化・魅力向上に期待

2. 「まちづくりの基本的な考え方*」における公共空間活用

*「新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくりの基本的な考え方について」

基本的考え方1. ハード・ソフト両面から総合的な取組を推進

基本的考え方2. 短期及び中長期的なまちづくりを段階的かつ計画的に推進

【具体的な取組イメージ】

キーワード	短 期	中 長 期
しんゆりらしさ 〔個性と魅力に あふれたまちづくり〕	・デッキや道路を活用したイベントの継続 ・ 駅前空間の更なる活用の検討 ・ 公園活用の検討 etc.	・低未利用地における土地利用転換などの計画的な誘導 ・3号線への機動的な対応
都市機能集積	・ 公園活用の検討 etc.	
交通環境改善	・暫定対策の検討 etc.	etc

3. 公共空間活用の検討

駅周辺における道路や交通広場、公園などの公共空間や緑豊かな空間をまちづくりのフィールドとして最大限に活用することを検討。



4. 公募による公共空間活用トライアルの実施

民間の柔軟な発想やノウハウを生かした、しんゆりらしい公共空間の有効活用を実現するため、公募によりアイデアを募集、まちづくりに資する取組についてはトライアル実施に向けて本市も協働します！



モデルエリア①：万福寺檜山公園（麻生区万福寺2丁目22-1）

モデルエリア②：新百合ヶ丘駅南口デッキ周辺

上記の他、駅周辺の公共空間など

アイデア採用の視点：

- ・まちの賑わい創出や魅力向上等に資する取組であるか？
- ・それぞれの環境を生かし、かつ調和する取組であるか？
- ・道路や広場、公園本来の機能や施設に支障を与えない取組であるか？
- ・経費負担も含め、実施者の自立的な取組になっているか？
- ・安全面や周辺の住環境に十分に配慮された取組であるか？
- ・取組と併せた園内清掃など、維持管理に貢献しているか？
- ・単なる企業PRや商品広告でない取組であるか？ etc.